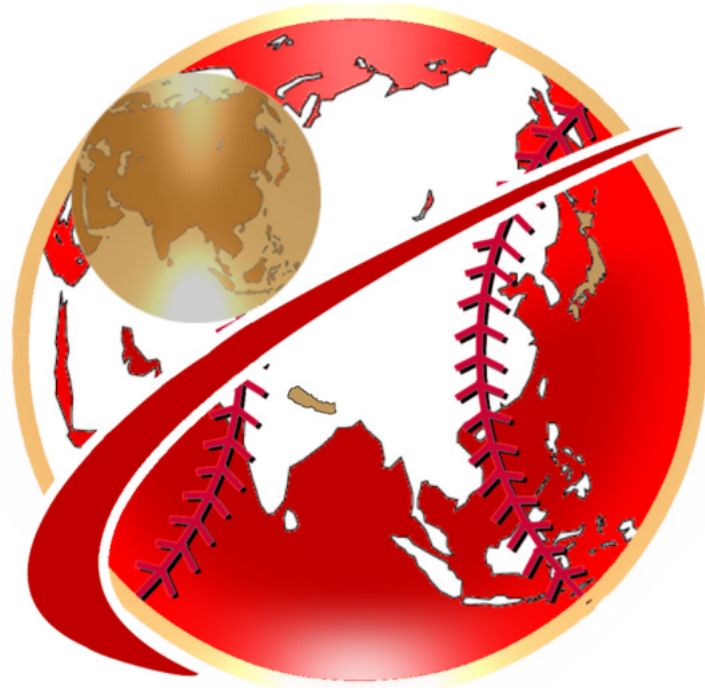




NPO法人ネパール野球ラリグラスの会 会報誌

# ラリグラス通信

2021年度 第1号  
2021年4月1日発行



Nippon Asia Baseball Friends  
**CLUB LALIGURANS**  
Since 1999

# 2021年4月14日から 運営変更

野球から広がる笑顔の輪

## ご挨拶

平素はネパール野球ラリグラスの会に温かいご声援を賜りましてありがとうございます。「ラリグラス通信」を発行するにあたり、ご挨拶を申し上げます。



さて、私は一昨年の12月に当会理事長に就任し、本年は理事長として本格的に始動してまいろうと考えておりました。しかしながら、本年に入り新型コロナウイルス感染症の感染が世界中で広がり、それが当会の活動にも大きく影響いたしました。日本では4月に緊急事態宣言が出され、人々の生活も様々な制限を受け、当会が計画していた活動も中止せざるを得ないものが多くございました。一方、ネパールにおきましても、一時は新規感染者が日々数千人に上る時期もあり、長期にわたりロックダウンが実施されるなど厳しい状況にあり、野球の活動ができる状態にはございませんでした。このように、2020年は思うような活動ができない不本意

な一年となるとともに2021年以降も計画の見直しが必須となっており、応援して下さった皆様にご心配をお掛けいたしました。新型コロナウイルス感染症が早く収束し、平穏な日常が戻ってくることを切に願っております。皆様も大変な日々が続いているかと存じますが、くれぐれもご自愛ください。

ところでこの度、当会では活動環境の変化に対応するため、より幅広い活動方針で会の発展を図ることとし、会の名称も「NPO法人日本アジア球友団ラリグラス」に改めることといたしました。また、空位であった会長に前理事長の小林洋平氏を選任して全体の統括をしていただくとともに長年活動に協力していただいたスリランカのスジワ・ウィジャヤナーヤカ氏をゼネラルマネージャーに迎えることといたしました。今後の活動方針では、野球やネパールに固執せず、今までの活動も大切にしながらアジア全体に目を向けたより幅広い活動を目指してまいります。私自身もネパールを代表して、活動の発展に尽力してまいります。なお、今回の対応に至りました経緯などにつきましては本編で詳しく述べておりますので、ご一読いただければと思います。

2021年は新たな活動方針のもと、活動の一層の発展をめざして尽力してまいります。至らぬ点多々あるとは思いますが、今後ともラリグラスに温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

NPO法人ネパール野球ラリグラスの会 理事長  
イッソー・タパ

平素はネパール野球ラリグラスの会およびアジアの野球に温かいご声援を賜りましてありがとうございます。



私は母国のスリランカで高校生のかぎりに野球と出会いました。そして、青年海外協力隊の野球選手の皆様にも大変お世話になりました。また、日本で審判員の技術を学び、国際大会での審判員なども経験させていただきました。さらには、自分が犠牲になっても相手を活かす送りバントの精神や相手のことを大事にするキャッチボールの精神など、日本で多くの事を学びました。日本の皆様には大変感謝いたしております。

昨年4月からは皆様のおかげで私の夢であったオリンピックに東京オリンピック組織委員会の野球・ソフトボール競技チームの副テクニカルオペレーションマネージャーとして携わらせていただいております。このような形で野球や日本に恩返しができることを大変嬉しく思っております。しかし、コロナ禍により東京オリンピックは延期を余儀なくされました。スリランカでも日々数百人の新規感染者が報告されており、予断を許さない状況です。そのような状況ではございますが、皆様に安心・安全に大会が開催できると思っただけのことを目指して日々活動しておりますので、皆様のご理解を何卒お願い申し上げます。

さて、当会は今後は広くアジアに目を向けた活動を展開してまいります。私も同じアジアの仲間として日本とアジアの友好促進に努めてまいりますとともに私自身も学ばせていただきたいと思っております。引き続き、皆様の暖かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

NPO法人日本アジア球友団ラリグラス ゼネラルマネージャー  
スジワ・ウィジャヤナーヤカ

平素は当会の活動に温かいご声援を賜り、厚くお礼申し上げます。



さて、理事長のイッソー・タパも申し上げておりますとおり、当会では活動を取りまく環境の変化に対応するため、これまでの活動からより幅を広げた活動方針で今後の活動を進めてまいることといたしました。そして、私も顧問から会長に立場を変えて活動に携わることとなりました。

私は2019年12月に理事長を退任し、昨年は顧問という立場で当会の活動に関わってまいりました。しかしながら、昨年は活動が思うように進まず、もどかしい日々が続いておりました。当会の活動は無給のボランティアによって運営されており、スタッフはそれぞれ仕事を持ちながら活動に携わっております。そんな中、昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大で仕事に影響を受けた者もあり、それが当会の活動にも影響する状況となってしまいました。私が理事長を退任した際には、余程の事が無い限り会の主幹となる予定はございませんでしたが、その余程の事が起きてしまい、関係者および内部からの要請を受け、このたび会長に就任するに至りました。

冒頭にも申し上げましたとおり、当会は今後、より幅の広い活動方針で活動してまいります。その中で、私たちはネパールのみならずアジアの国々にも広く目を向け、協働の力で日本とアジアをつなぐ活動を目指してまいります。そして、「アジアをつなぐ協働の送りバント」というスローガンを掲げ、日本とアジアをつなぐ手助けをしながら自分たちも成長することができればと考えております。こうした活動を進めていくためには、思いやりの気持ち、困難に打ち克つ覚悟といったことが重要です。

新たな取り組みを進めていく中で何が正解かは分かりませんが、今置かれた状況の中で試行錯誤しながらNPOとして挑戦し続けていくことが大切だと思っております。今回の活動方針を打ち出すに至った背景には、これまでの活動で築き上げてきた日本とネパールにとどまらない広範囲なネットワークを通じた周囲の人々からの声もございました。これからも「協働」の理念を変えることなく、こういった仲間たちと共に力を合わせ、逆境の中でも進化していきたいと考えております。

皆様におかれましては、今後とも変わらぬご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。

NPO法人日本アジア球友団ラリグラス 会長  
小林 洋平

小林 洋平



日本の皆様には長年にわたりネパール野球をこ支援いただきまして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年来、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、ネパールでも数多くの感染者が出ております。当地では長期にわたるロックダウンも実施され、人々の生活も様々な制限を受けております。この影響で、私たちの野球の活動も思うに任せず止まった状態となってしまいました。新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束を望んでおります。

厳しい状況は続いておりますが、私たちは再び立ち上がり、日本の皆様とも力を合わせて活動を進めてまいりたいと思っております。今後とも引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

ネパール野球ソフトボール協会 事務局長  
ディパック・ネウパネ

## ラリグラスの会の今後

2021年4月14日に、当会はこれまでの活動方針をより発展させた形で活動を進めることとし、名称も「NPO法人日本アジア球友団ラリグラス」に改称いたします。当会は21年以上にわたって野球を通じたネパールとの国際交流活動を続けてまいりましたが、その間の社会環境の変化やネパール野球が成長していく中で、当会の活動も変化への対応が必要と感じております。こうした背景から、今後はこれまでの活動に加え、より幅広い活動を行い、更なる発展を目指すことといたしました。なお、改称の当日はネパールの新年であり大阪市で東京オリンピックの聖火リレーが行われる日でもあります。オリンピック出場は活動開始当初から夢であり、聖火は神々に捧げる神聖な火とされています。そして、ネパールは神々の国と言われていることから、「初心忘るべからず」の意味も込めてこの日にいたしました。以下、今後の活動につきまして、その内容やこれまでの経緯についてご説明いたします。

### これまでの経緯

当会は、野球を通じたネパールとの国際交流を行っております。当会は1999年に学生のボランティア団体として活動を始め、以来21年に渡り「協働」を理念として活動を続けてまいりました。活動開始当初、ネパールに野球は全く知られておらず、ゼロからのスタートでしたが、長年の活動の中で現地の野球人口も徐々に増え、近年では国際大会に出場するまでに発展いたしました。



しかしながら、長年の活動の中でネパール野球を取り巻く環境も変化してまいりました。現地には国に認められた野球の統括団体であるネパール野球ソフトボール協会も設立され、当会と協力して活動を進めております。当会は活動の初期において、指導員の派遣や野球大会の開催等の支援を行ってきましたが、最近では現地の人たちが自主的に大会を開催するなど、ネパール側主導の活動が行われるようになり、喜ばしく思っております。現地の自主的な活動は当会の目標でもあります。その目標に近づきつつある中で、当会の役割も変化していく必要があると感じておりました。また、昨年はコロナ禍の中で思い通りの活動ができていなかったこともあり、昨年6月頃から時代の変化にどのように対応していくか議論がなされておりました。

このような背景から、当会では活動を「ネパール」と「野球」に限定せず、日本を含めたアジアを中心とした国際交流の活動とした方がより多くの人々に受け入れられ、共に活動できる仲間が増えて現地の野球発展につながるのではないかと考え、これまでの活動を基礎としつつもより幅広い活動方針とすることに至りました。そしてこの運営方針や名称変更を含んだ定款変更が昨年12月19日の総会に上程され、満場一致で決議されました。

### 法人名の変更

本ページの冒頭でもご紹介いたしましたとおり、当会は以下のように名称変更いたします。

NPO ほうじん にっぽん アジア きゅうゆうだん ラリグラス  
NPO 法人 日本アジア球友団ラリグラス  
(英文表記)  
Nippon Asia Baseball Friends Club Laligurans

今後の活動方針では、これまでのネパール野球の活動を基礎としながらも、日本を含むアジアを中心とした国際交流活動に広げてまいります。そうした背景から、新名称には長年にわたって継承してまいりました「ラリグラス」という名称を残しつつ、スポーツを通じた日本とアジアの友好を深めるとの意味を込めて上記の名称といたしました。

なお、「ラリグラス」とは「シャクナゲ」のことでネパールの国花です。「ラリグラス」という名称には、ヒマラヤの岩山にしっかりと根を張って生きる「ラリグラス」のように、活動がしっかりと根をおろし、いつか大輪の花を咲かせて欲しい、活動が広がることでネパールに野球が広がり共に成長していきたいとの発足当初からの願いが込められております。会の名称が変わってもこの願いは変わりません。



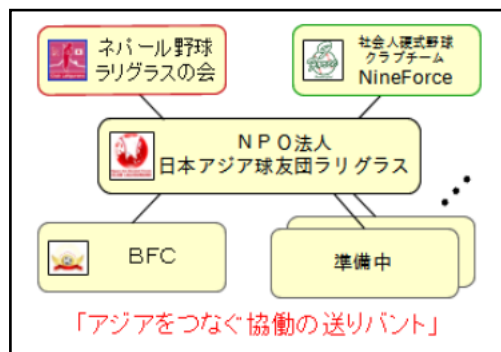
## 今後の活動方針

### ■活動の目的

- ・日本およびネパールをはじめとしたアジア各国の人々とのスポーツや文化等を通じた国際交流
- ・アジア各国および日本の文化を相互に伝え合い、共に学び合い協働することを通じた国際協力への寄与

### ■事業内容（定款より抜粋）

- (1) ネパールをはじめとしたアジア各国のスポーツ振興事業
- (2) ネパールをはじめとしたアジア各国文化の広報活動事業
- (3) 野球教室、野球チームの運営事業
- (4) 他団体及びネパールをはじめとしたアジア各国との交流事業
- (5) スポーツによる健康増進事業
- (6) 外国人への教育サポート事業
- (7) 観光情報の広報事業
- (8) その他、目的を達成するために必要な事業



なお、右の図に示しておりますように、今後の活動スローガンを「アジアをつなぐ協働の送りバント」といたします。そしてこれまでのネパール野球の活動は、当会が運営母体となっている社会人硬式野球クラブチームNineForceと同様にNPO法人日本アジア球友団の主な活動のひとつとして運営されます。また、それ以外にも当会理事が運営する外国人のサッカーチーム「弁天町フットボールクラブ」（BFC）など、現在準備中ではありますが、活動内容を徐々に増やし「ラリグラス・グループ」として運営していく予定です。

## ロゴマーク

今回、会の名称を変更するとともにより幅の広い活動を目指すことから、ロゴマークを新たに制定することといたしました。右の図案が新しいロゴマークでございます。

このロゴマークは、「日本を含めたアジアを中心とした国際交流の活動」を表すため、アジアの地図上に「架け橋」を表す赤い線を描いております。なお、この赤い線はラリグラスの頭文字「L」を図案化したものです。また、大小2つの地図は多様性を表しており、国や民族の違いに関係無く様々な人々と共に進んでいくことを意味しています。さらに、ロゴマーク全体に関しては、日本の国旗をイメージしたデザインにいたしております。



その一方で、当会はこれまでも「野球を通じた日本とネパールの交流」を目的とした活動を続けてきており、今後もそれを基礎とする意味を込め、地図を野球のボール風にするとともに地図上で日本とネパールを強調したデザインとしております。また、活動開始当初からオリンピックを夢見ていたこともあり、金メダルを表す金色を使用しております。

## 会員、協力者、スポンサー募集中

当会では会員、協力者、スポンサーを募集しております。

会費： 一般会員 6,000円、 賛助会員 3,000円、 法人会員 50,000円

### ■お振込先

【銀行】三菱UFJ銀行 城東支店 普通口座 0187650

【郵便振替】口座番号 00950-8-165088

NPO法人 ネパール野球ラリグラスの会

\* 法人名改称後に5月頃から口座名義も変更予定です。

(問い合わせ先) info@nepalbaseball.net

### (お知らせ)

2022年度(2021年10月開始)より一般会員の会費を1万円に改定させていただきますので、ご承知おきください。賛助会員、法人会員の会費に変更はございません。なお、今回の会費改定につきましては2020年度の総会でのご承認をいただいております。

## 2020年の活動

2020年の活動についてご報告申し上げます。

### 活動の総括

2020年は、2019年12月にイッソー・タバが新たに理事長に就任し、新体制で活動を進めてまいりました。しかしながら、2020年に入ってから現在に至るまで新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大が世界中に広まり続け、会のメンバーにも本業での影響があったり、会の内部もうまくまとまりが取れなかったりとその影響が本年度の当会の活動にとっても大きな障害となりました。

日本国内においては、4月に政府から緊急事態宣言が発せられたこともあり、日々の生活に様々な制限が課せられ、多くの催し物の中止も相次ぎました。その中で、当会といたしましても予定していた野球教室など活動の多くを中止といたしました。

また、ネパール国内においては、3月下旬からロックダウンが実施されるとともに、航空便の停止、外国人へのビザ発給停止といった措置がとられました。しかし、その後も感染者数は増え続け、ピーク時には、日々数千人の感染者が出ておりました。この影響により、ネパール国内では野球の活動も停止を余儀なくされました。

以上のような状況から、2020年は計画通りの活動ができない結果となってしまいました。2021年に入ってから新型コロナウイルスの収束は見えない状況にあります。当会といたしましては、このような厳しい状況の中でも、できることを模索しながら今後の活動を行ってまいります。

### 主な活動

#### ■野球交流会

2020年12月19日に大阪城野球場にて野球交流会を行いました。当初は数十名を募って「南アジア交流野球教室2020大阪」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況から規模を縮小し、交流会として実施いたしました。当日は、講師として予定していたスジュー・ウィジャヤナーヤカ氏、野球教室に参加予定だった一部の児童のほか野球初体験のネパール人の方なども一緒に野球を楽しみました。



野球交流会

#### ■ワンワールドフェスティバル（2021年2月1日から21日）

本年もワンワールドフェスティバルに出展いたしました。今回が15回目の出展です。今回は、新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催となりました。当会では、ONLINEブースに活動紹介の動画を出店いたしました。



ワンワールドフェスティバル

### テレビでの紹介

2020年2月10日に関西テレビ「よ〜いドン！」の「となりの人間国宝さん」のコーナーで当会が紹介されました。番組では、タレントの円広志さんが当会の事務所を訪れ、イッソー・タバ理事長、小林洋平顧問らとネパールや当会の活動のことなどを中心に楽しいトークが展開されました。



「よ〜いドン！」

## ネパールの状況

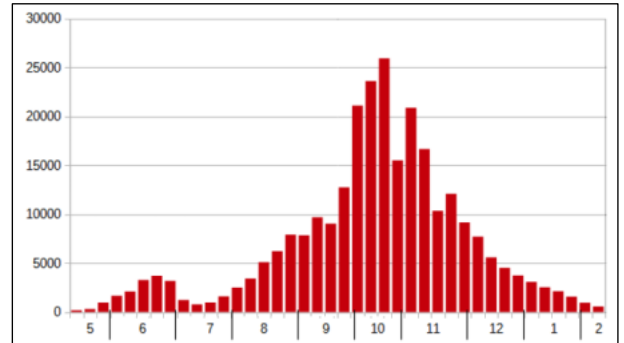
新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大は世界中に広まり続け、その影響はネパールにも及んでおります。現地では、ロックダウン（外出禁止）など人々の生活にも様々な制限が加えられ、不自由な生活を強いられております。そのような状況下で野球の活動も停止した状態にあります。以下、ネパールの状況についてご紹介いたします。

### ネパールでの感染状況

ネパールでは、2020年1月に初めて感染者が確認された後、昨年末までに感染者数は26万人を超えております。特に10月中旬から11月中旬にかけては、日々数千人を超える感染者が報告されました。

現在の新規感染者数は日々100人程度まで減少しています。また、2021年1月下旬からは、ワクチンの接種も始まっております。

ネパールでの感染者数の推移



### 政府の対策

新型コロナウイルス感染拡大の防止策として、ネパール政府は様々な規制を実施いたしました。以下にその一部をご紹介します。

#### ■ロックダウン（外出禁止）

2020年3月24日からロックダウンが開始され数度の延長がなされました。7月22日には一部が解除されましたが、学校などはその対象外となり、地域差はありますが、その後も長く閉鎖が続きました。

#### ■航空便の運航停止

2020年3月22日から一部のチャーター機を除いて国内線、国際線の運航が停止されました。

9月17日から運行が再開されましたが、国際線は基本的にネパールへの帰国者用のものとなっております。

#### ■入国制限

2020年3月10日から日本を含む5か国、3月14日からはすべての外国人に対し、到着ビザの発給が停止されました。また、陸路による入国も停止されており、外国人の入国は厳しく制限されております。

今後、制限が緩和されたとしても、入国後に一定期間隔離が必要とされるなど、難しい状況が続くことが予想されます。



### 野球の活動の状況



ネパールでの新型コロナウイルス感染の拡大は現地での野球の活動にも大きな影響を与えております。長期間に渡る厳しい状況の中で、ネパール野球ソフトボール協会（NB SA）の役員からは「COVID-19のパンデミックで危機的な状況になっている。ロックダウンでネパールでの野球の活動が止まっている。今は野球どころではないし、先の見通しが立たず、どうしようもない」との声が届いております。

感染の危険は練習場所の近くにもひそんでおり、ロックダウンの影響で日々の練習にも支障をきたしております。NB SAはネパールでの野球普及を目的として各地の学校で野球を紹介する活動を計画しておりますが、学校のロックダウンが長期化し、その計画も停滞しております。また、当会では2020年の10月に現地での野球大会を予定しておりましたが、大勢が集まっての行事も認められていない中では計画が立てられず、大会を2021年に延期することといたしましたが、開催できるかは依然未確定でございます。

# 社会人硬式野球クラブチームNineForce



当会は、社会人硬式野球クラブチーム「NineForce（ナインフォース）」の運営母体となっております。

NineForceは奈良県山添村を本拠地に、隣接する忍者の里・三重県伊賀市やお茶の里・京都府相楽郡でも活動しています。

## ご挨拶 監督 藤森稔人



NineForceは2020年6月1日で、前身のチームを含め創設10周年を迎えることができました。この10年、我がチームを支え応援していただいた方々には深く感謝申し上げます。日本野球連盟に加盟して2年目を迎えた2020年ですが、春頃から新型コロナウイルスの影響により、3月末から6月まで公式戦、練習等全ての野球活動が休止となりました。以後、活動は徐々に再開しましたが、新型コロナウイルスの影響を受け続けた年となりました。今後は感染対策などを徹底しながら、野球・国際交流・地域活性化活動などを再開できればと考えています。よろしくお願いいたします。

## 2020年ピックアップ

### 【3月】

新型コロナウイルスの影響により、「都市対抗野球大会奈良県予選」が延期。以後、5月末まで全ての野球活動を休止。

### 【6月】

6/1：チーム創設10周年  
6/6：野球活動再開

### 【8月】

8/1：「都市対抗野球大会奈良県予選」開催。同大会に初出場。  
惜しくも初戦敗退

### 【10月】

10/24：「奈良県知事杯」開催。  
念願の公式戦初勝利（2回戦敗退）

### 【12月】

12/19：ラリグラス野球交流会に参加。





## NineForce 2021年の体制



監督(兼選手)  
藤森 稔人 31  
1983.3.1生  
三重県出身



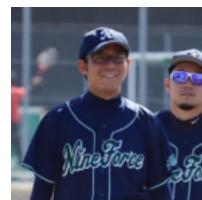
主将  
中西 達哉 26  
1993.5.22生  
三重県出身



副主将  
安田 涼介 2  
1995.3.3生  
大阪府出身



副主将  
河波 泰淳 11  
1990.9.24生  
京都府出身



主務(兼選手)  
森本 龍滋 5  
1985.4.16生  
奈良県出身

■部長：大西 邦夫    ■マネージャー：小林 千裕・泉 風花

## このような選手も活躍しています



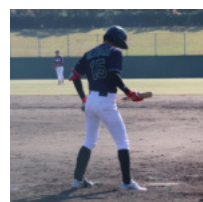
投手  
尾崎 泰裕 79  
1970.5.24生  
チーム最年長投手  
ナックルボーラー



内野手  
平松 龍矢 24  
1990.1.1生  
海外チームから復帰



内野手  
吉田 大志 1  
1999.6.4生  
チーム支える大学生



外野手  
岡山 陽太 15  
2002.7.26生  
硬式野球未経験からの  
挑戦



内野手  
山崎 伊玖真 19  
2004.1.22生  
チーム最年少



## 地域プロジェクト

NineForceでは、「野球を通じた」をキーワードに、「地域活性化活動」にも取り組んでいきます。地域の皆さまと一緒に何かできないか、これまでの枠組み、考えに固執せず、地域やお店、団体様などと連携し、活性化できればと思います、始動しました。(詳細はHPなどで掲載)

## 選手・マネージャー・コーチ等のスタッフ・スポンサー募集中

我々と共に、「野球活動」「国際交流・支援活動」「地域活性化活動」を行ってくれる方々をお待ちしています。

- HP：<https://www.9force.net/>
- メール：[9force.bc@gmail.com](mailto:9force.bc@gmail.com)
- アメーバブログもあります。



# 侍ジャパン 公式ウェブサイト

当会では、2015年4月より、野球日本代表「侍ジャパン」の公式ウェブサイト内のコラム「世界の野球」において「ヒマラヤを北に臨む国ネパールの野球」と題したネパール野球を紹介する記事を執筆させていただいております（不定期更新）。ここに、最近のコラムの中から2つの記事を紹介させていただきます。

## 第60回（2020年5月14日）「世界が一つになって逆境をのりこえる」

現在、世界中で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大が深刻な状況となっており、その影響はネパールにも及んでいる。世界保健機関によると、この記事を書いている現時点でネパールでの感染者数は80名を超えている。世界の中には、感染拡大が収束の兆しを見せている国もあるが、ネパールでの感染者数は今も増え続けている。

世界中での感染者拡大を受け、ネパール政府は外出禁止令を発令し、全ての国際線および国内線の航空便を運行停止とするなど様々な対策を実施している。3月23日に発令された外出禁止令の期限は当初3月末の予定であったが、数度の延長を経て、現時点（5月8日）で期限は5月18日まで延長されている。日本の外出自粛は要請なのに対し、ネパールの外出禁止令は従わなければ処罰される場合もあり、日本より厳しい措置となっている。こういった対策が実施される中で、ネパールの人々は苦しい状況を強いられている。

もちろん、苦しい状況は野球にも及んでいる。選手やネパール野球ソフトボール協会も外出禁止令が出ている状況では野球をしたくても思うに任せないのが現状である。例えば、前回のコラムでも少し触れたが、今年の2月初旬にはカトマンズ近郊のカブレにある警察学校で野球が正式に始められることとなり、開始にあたってネパール野球ソフトボール協会の役員やネパール代表選手も参加した式典が行われた。そして今後は、ネパール代表選手が継続的にこの学校に出向いて指導にあたる予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で全ての学校が閉鎖され、この計画も学校が再開されるまで見合わせざるをえなくなった。

ただ、チームで集まって練習や試合をすることはできなくても、個人的に練習を行っている者もいる。しかし、その場合でも、遠くに出向くことはなく、やることも自宅付近でキャッチボールをしたりネットに向かってバッティングをしたりする程度のごく小規模なものに限られている。また、練習時にはマスクを着用して感染防止に努めている。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）については、世界の野球関係者も盛んに情報交換をしているが、野球どころではない地域がほとんどである。野球ができない中、世界各地の野球人たちは野球ができない寂しさを少しでもやわらげるため、SNSに野球の写真を投稿し合う取り組みを行うなど、お互いを励まし合いながら再び野球ができる日を待ちわびている。また、ネパールを含めたアジア野球連盟の中でも、各連盟からメッセージが寄せられるなど各国が支え合っていて、それが互いの励みになっている。このように、こういった状況下では、皆がひとつになって逆境に立ち向かわなければならない。今、世界中で「Stay Home」が叫ばれており、事態の早期収束のためには、ひとりひとりの自覚ある行動が重要となっている。そして、野球を始めとしたスポーツが、人々が元通りの平穏な生活に戻るための大きな力となると信じている。





## 第64回（2020年12月25日）「迫られる変革」

2020年も間も無く終わろうとしている。今年はコロナ禍で人々の生活が大きく変わった激動の1年であり、様々なイベントも中止を余儀なくされた。そんな中、私たちネパール野球ラリグラスの会も去る12月19日に「南アジア交流野球教室2020大阪」と題し、元ネパール代表のイツソー・タパ氏（社会人硬式野球クラブ「ナインフォース」所属）や元スリランカ代表のスジワ・ウィジャヤナーヤカ氏（アジア野球連盟所属国際審判員）らを講師とし、子どもたちを対象とした野球教室を計画していたが、これも中止となった。この野球教室は、2020年の東京オリンピックに向けて子どもたちに国際交流に関心を持ってもらうことを目的とし、毎年この時期に東京で開催していたものを、本来オリンピック終了後となるはずだった本年から大阪に場所を変えたものである。今回の開催にあたっては、コロナ対策のため規模を縮小し、十分な感染防止策を取りながら開催する予定ではあったが、参加の取り消しも相次ぎ、中止することとした。まさに今年を象徴する出来事でもあった。



1999年から始まったネパール野球の活動の中には困難な時期もあった。例えば2005年にはネパールで内戦が起こったし、2015年には大地震が発生して現地では甚大な被害が出た。2015年の大地震のときは、ネパールが困難な状況に陥る中で、私たちは現地の野球関係者と綿密に連絡を取り合い、現地の要望に即した震災復興支援に尽力した。このように様々な困難を乗り越えながら、私たちは「協働」の理念の下で共に学び合い成長してきた。過去にも紹介したが、活動開始当初、ネパールで野球は全く知られておらず、ゼロからの始まりであった。そんな中で私たちは指導員を派遣したり、現地で野球大会を開催したりするなどネパールでの野球普及に務めてきた。しかし、近年では、現地の野球関係者が自主的に大会を開いたり、国家代表チームを組み国際大会に出場したりするなど、様々な問題を抱えながらも自立した動きを見せていた。現地の人々による自立したネパール野球は、活動当初から目指していたところであるが、それが実現に向かって一步一步進んでいく中で、ネパール野球を取り巻く環境も年々変化し、私たちも役割の見直しを図りながら活動を進めてきた。

ところで、このコラム「世界の野球」に寄稿を始めてから、今回が63回目の記事となる。節目となる第60回目（2020年5月14日掲載）から数回にわたり、一方的な支援ではなく共に学び合う協働といった観点から私が1999年からの活動の中で感じ、このネパール野球のコラムで最も述べたかった内容について寄稿すべく準備を進めていた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻な状況となり、今はネパールでの状況を伝える記事を優先し寄稿すべきだと考え、当初の内容は事態が落ち着いたら改めて寄稿することとしたが状況は変わらない。今年、ネパールでは3月からロックダウンが始まり、一部のエリアでは現在も学校が閉鎖され続けている。当然、野球の活動も止まっている。ネパールの関係者からは、活動が徐々に再開するのではないかとの連絡もあるが、日常が戻ったとしても以前と同じように活動していくことは難しい。そもそもネパール野球の活動の目的は野球を通じた交流および人間形成であり、人間形成は、ネパール野球に限らず、社会全体にも通じる場所である。そして野球交流はそのためのひとつの道具にすぎないと考えているし、そういった思いで活動を続けてきた。環境が大きく変化する中で、ネパール野球の活動には、これまでの活動を基礎としつつも、それに固執することないゼロベースでの大胆な変革が必要なのかも知れない。



さて、冒頭で触れた野球教室は中止となったが、当日は野球教室用に予約してあったグラウンドを子どもたちの遊び場として開放した。そこに来ていた子どもたちからも「平穏な日常が戻って欲しい」との声が出ていた。本当に大変な1年であったが、その中で私たちは今後に向けての決断を迫られている。



ネパールに野球を。ネパールに笑顔をも。

ネパールに野球を。ネパールに笑顔をも。

ネパールに野球を。ネパールに笑顔をも。

ネパールに野球を。ネパールに笑顔をも。

野球から広がる笑顔の輪



会員、スタッフ、協賛企業  
募集中

何かに**熱**くなることは悪いことか？



きっとある、あなたにできること。  
NPO法人 ネパール**野球**ラリグラスの会  
http://www.nepalbaseball.net/ E-mail: info@nepalbaseball.net



NPO法人  
ネパール野球ラリグラスの会  
Nepal Baseball Club Laligurans

野球から広がる笑顔の輪

私たち「ラリグラスの会」は、野球が知られていないネパールで青少年に野球の楽しさを紹介しているNPO法人です。理念は、一方的な支援でなく共に成長する「協働」です。

ラリグラスの会のFacebookページに「いいね」しよう。

# 「協働」 Since 1999



野球から広がる笑顔の輪

野球から広がる笑顔の輪

野球から広がる笑顔の輪

野球から広がる笑顔の輪

野球から広がる笑顔の輪



ネパール野球20年目の集大成  
そして新たなスタートへ

編集・発行：NPO法人ネパール野球ラリグラスの会  
〒536-0016 大阪市城東区蒲生1丁目10-5 F-CUBEビル 202号  
http://www.nepalbaseball.net/ E-mail: info@nepalbaseball.net

